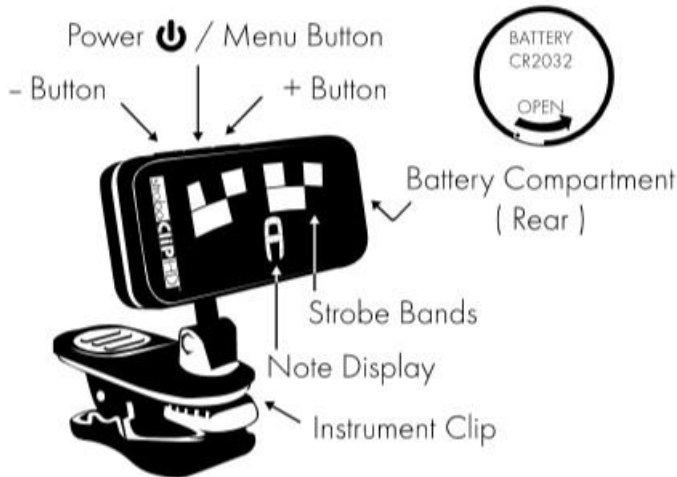


# strobeClipHD™

## 1. はじめに

電源のボタン (Power) を押すと、電源が入ります。(電源のボタンは、メニューボタンと同じ)



画面の下に、鳴らしている音の音階が表示されます。ストロボが左に回転していると「フラット (低い)」右に回転していると「シャープ (高い)」ことを示します。ストロボの動きが止まると、1/10 セントの精度でチューニングが出来ていることを示します。



このチューナーは、様々な楽器や音律のプリセットを 50 種類、搭載しています。ここでは、これらのプリセットを「Sweetener」と呼びます。なぜなら、これらのプリセットは、各楽器の特有の音階に微調整されているからです。「Sweetener、その下に (アルファベット 3 文字)」が出るまで、メニューボタンを押します。±のボタンで、お好みのプリセットを選べます。メニューボタンをもう一度押すか、そのまま 8 秒経つと、メニューモードが終わります。

### Selecting A Sweetener Preset



プリセットのデフォルトは、EQU（平均律）です。これは、何か特定の楽器に調整されているものではなく、クロマティック・チューナーとして使う時のものです。EQU にすぐに戻す場合、「Sweetener、その下に（アルファベット 3 文字）」が出るまで、メニューボタンを押した後、±のボタンを同時に押します。

## 2. ピッチの変更

メニューボタンを 3 回、つまり「A」が点滅するまでメニューボタンを押します。その後、±のボタンでピッチ（周波数）を調整できます。1/10 セント（半音の 1/1000）の精度で、ピッチ（周波数）を設定するには、メニューボタンを短く押してから、±のボタンで数字の変更を行います。±のボタンを両方、同時に押すとデフォルトの 440Hz に戻ります。ピッチの変更を行った場合、そのパラメーターは保存されます。

### Changing The Concert Pitch Reference



## 3. バグパイプのチューニング

「Sweetener の下の（アルファベット 3 文字）」が点滅するまで、メニューボタンを数回押します。±のボタンで「GHB」を選びます。再度、メニューボタンを押します。これで、バグパイプのチャンターの各音階とドロンのチューニングができます。ピッチ（周波数）の変更をしたい場合、上記「ピッチの変更」の要領で変更することができます。

チャンターの音階は、音階通りに表示されます。ただし、C と F のみ異なり、C の音は「C#」、F の音は「F#」と表示されます。それ以外は音階通りのため、チューニングが合っている場合、各音階は「G, A, B, C#, D, E, F#, G, A」のように表示されます。

## 4. 保証

チューナーがお客様のお手元に届いてから、2 年間のメーカー保証が付きます。内容は、必要な部品の修理・交換に限定されます。輸送中の破損、不適切な使用による故障は、保証の対象となりません。

以上